

東洋水産から株主の皆様へ 2015年4月1日～2015年9月30日

第68期中間報告書





いまむら まさなり

代表取締役社長 **今村 将也**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社第68期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となっておりますが、中国を始めとするアジア新興国等の海外景気の下振れが景気を下押しするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削

減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

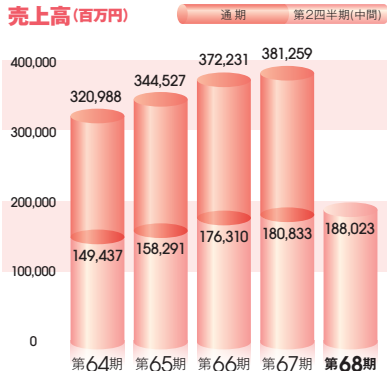
この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は188,023百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は12,508百万円（前年同四半期比17.4%増）、経常利益は13,054百万円（前年同四半期比15.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,288百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

株主の皆様には、引き続きご一層のご指導ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2015年12月

連結決算ハイライト

売上高(百万円)



経常利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



水産食品事業



昨年度からの円安等により魚価の高騰が続く中、コンビニエンスストアの他、量販店の惣菜事業等へ水産加工品の積極的な販売を推し進めましたが、競争の激化や原料価格高騰分を販売価格に十分に転嫁できなかった影響もあり、売上高は16,732百万円(前年同四半期比3.1%減)、セグメント損失は232百万円(前年同四半期はセグメント損失81百万円)となりました。

海外即席麺事業



アメリカ国内では、雇用回復による外食産業の伸長、加工食品メーカー間での特売確保の競争もあり厳しい販売環境の中、大手量販店との取り組みを強化しましたが、減収となりました。メキシコでは現地通貨安が進み販売数量は減少しました。その結果、売上高は現地通貨ベースでは減収となりましたが、円安の影響により、売上高は40,449百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。セグメント利益は、積極的な販促活動により販促費の増加はありましたが、テキサス工場の稼働率上昇や原材料価格の低下により5,690百万円(前年同四半期比9.0%増)となりました。

国内即席麺事業



カップ麺では価格改定の影響で、基幹商品である「赤いぎつねうどん」「緑のためぎ天そば」を中心とした和風麺シリーズや「麺づくり」等は減収となりましたが、「ごつ盛り」などオープンプライス商品が大きく伸長し、カップ麺全体では増収となりました。袋麺は、競争の激化などもあり前年より減少したものの、「マルちゃん正麺」で積極的な販促活動及び新たな需要喚起に取り組んでおります。その結果、売上高は53,944百万円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益は3,654百万円(前年同四半期比19.2%増)となりました。

低温食品事業



生麺類では主力商品の「マルちゃん焼そば」3人前シリーズや冷シラーメン類において消費者キャンペーンを実施する等の積極的な販売活動を行い、増収となりました。冷凍食品類では、市販用焼そば、業務用ラーメン及び枝豆類の新規導入により、堅調に推移しました。その結果、売上高は35,672百万円(前年同四半期

比3.1%増)、セグメント利益は2,041百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。

加工食品事業



米飯は積極的な販売活動を行ったことにより、主力の無菌米飯、レトルト米飯ともに増収となりました。フリーズドライ製品は主力の5食入り袋スープが好調に推移しました。その結果、売上高は9,278百万円(前年同四半期比7.8%増)となりました。セグメント利益は、売上増加の影響に加え、原料米の価格が安定してきたこともあり、317百万円(前年同四半期比185.9%増)となりました。

冷蔵事業

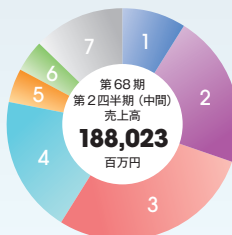


積極的な営業活動により、東扇島地区を中心に各地冷蔵庫での商品取り扱いが好調に推移し、売上高は8,241百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。セグメント利益は、東扇島自動倉庫建設に関する一時費用が落ち着くとともに、省エネ対策による経費の削減により952百万円(前年同四半期比79.7%増)となりました。

その他

主に弁当・惣菜事業であります。売上高は23,735百万円(前年同四半期比5.4%増)、セグメント利益は364百万円(前年同四半期比79.8%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成比



1. 水産食品事業	8.90%	16,732 百万円
2. 海外即席麺事業	21.51%	40,449 百万円
3. 国内即席麺事業	28.69%	53,944 百万円
4. 低温食品事業	18.97%	35,672 百万円
5. 加工食品事業	4.93%	9,278 百万円
6. 冷蔵事業	4.38%	8,241 百万円
7. その他	12.62%	23,735 百万円



連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結会計期間 2015.9.30	前連結会計年度 2015.3.31	
資産の部	流動資産	185,517	181,243
	現金及び預金	67,693	68,331
	受取手形及び売掛金	48,448	46,788
	繰延税金資産	1,747	1,574
	その他	68,119	65,032
	貸倒引当金	△491	△485
	固定資産	156,936	152,690
	有形固定資産	124,631	120,669
	無形固定資産	3,333	3,232
	投資その他の資産	28,971	28,789
資産合計	342,454	333,933	
負債の部	流動負債	51,206	47,860
	固定負債	25,662	26,123
	負債合計	76,868	73,984
純資産の部	株主資本	239,819	234,087
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,517	22,516
	利益剰余金	206,556	200,821
	自己株式	△8,224	△8,220
	その他の包括利益累計額	15,339	15,620
	その他有価証券評価差額金	6,773	7,049
	繰延ヘッジ損益	△16	16
	為替換算調整勘定	8,169	8,217
	退職給付に係る調整累計額	412	336
	非支配株主持分	10,426	10,241
	純資産合計	265,585	259,949
	負債純資産合計	342,454	333,933

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30
売上高	188,023	180,833
売上原価	120,866	117,479
売上総利益	67,156	63,354
販売費及び一般管理費	54,648	52,700
営業利益	12,508	10,653
営業外収益	1,016	938
営業外費用	470	249
経常利益	13,054	11,342
特別利益	1	598
特別損失	301	101
税金等調整前四半期純利益	12,754	11,839
法人税、住民税及び事業税	4,645	3,983
法人税等調整額	△425	△56
四半期純利益	8,534	7,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	246	137
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,288	7,775

連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30
四半期純利益	8,534	7,913
その他の包括利益	△264	5,089
四半期包括利益	8,269	13,003
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益	8,006	12,782
非支配株主に係る四半期包括利益	263	220

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2015.4.1～2015.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2014.4.1～2014.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,086	13,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,622	△31,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△6,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	944
現金及び現金同等物の増減額	△7,164	△23,427
現金及び現金同等物の期首残高	33,680	47,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,515	23,993



MARUCHAN, INC. マルチャンインク

日本を飛び越えて、世界の“マルチャン”へ

1972年12月、東洋水産は、カリフォルニア州ロサンゼルス近郊のモントレイパーク市に、現地法人MARUCHAN, INC. (マルチャンインク)を設立、日本から輸出した即席麺の販売を開始し、アメリカ進出の第一歩を踏み出しました。現在ではアメリカ国内4カ所に製造拠点を構え、北米および中南米へ商品を提供しています。

北米事業の歴史



- 1972年 マルチャンインクを設立
- 1977年 第1工場(カリフォルニア州アーバイン市)を設立
- 1990年 第2工場(バージニア州リッチモンド市)を設立
- 1994年 第3工場(カリフォルニア州アーバイン市)を設立
- 2014年 第4工場(テキサス州サンアントニオ市)を設立



- マルチャンインク ディア工場
- マルチャンインク ラグナ工場
- マルチャンバージニアインク

第4工場

MARUCHAN TEXAS, INC.

マルチャンテキサスインク

2014年4月、米国で4番目の即席麺製造拠点として設立されました。その目的は、生産供給能力を拡大することと、より消費地に近い場所に生産拠点を置くこと。今後も北米および中南米への商品供給拡大をミッションに、事業を行なっております。



延床面積

約 **47,000m²**

カップ麺に**革新!**

マルちゃん 正麺 カップ 登場!

せい めん

2011年11月に発売した「マルちゃん正麺 袋」は、
生の麺本来の自然な食感と味わいが高く評価され、大ヒットとなりました。
「同じ感動をカップ麺でもお届けしたい」という思いで2012年に始動した
「マルちゃん正麺 カップ」構想。約4年の開発期間を経て、ついに完成です!

お客様の感動を生む、麺・スープ・具材へのこだわり

麺 *noodle*

一度ゆでた麺を独自技術で乾燥させる特許製法「生麺ゆでてうまいまま製法*」を採用。お湯をそそぐだけで、ゆでたての麺のような、なめらかさと弾力のある食感を楽しめます。 ※特許 第5719064号



スープ *soup*

自社工場で、鶏ガラや豚ガラ、香味野菜などをじっくり炊き出した「自家製だし」がおいしさの秘訣。出来上がった時に、ラーメン屋さんの寸胴鍋から漂うだしの風味を演出しています。

具材 *ingredients*

「芳醇こく醤油」や「濃厚とろ豚骨」のチャーシューは、各々の味に合う肉の部位を厳選。「香味まる味噌」の野菜は、「フリーズドライ製法」で食べ応えのある大切りキャベツにしています。

袋麺とともに、即席麺市場を活性化していきます！

—— 生麺の味わいをカップで！ マルちゃん正麺カップ ——



芳醇こく醤油



香味まる味噌



濃厚とろ豚骨

関西以西のみ発売

—— マルちゃん正麺 袋 ——



醤油味



味噌味



豚骨味



塩味



うどん



カレーうどん



鴨だしそば
数量限定

—— 煮込んで食べるマルちゃん正麺 ——



醤油ラーメン



味噌ラーメン



ちゃんぽん

累 計 出 荷 数

10億食 達成！

おかげさまで マルちゃん焼そば 40周年



1975年11月の誕生から、今年で40周年を迎えます。

おかげさまでマルちゃん焼そばは、

チルド麺市場での売上ナンバーワンブランド*に成長しました。

40年分のお客さまへの感謝をこめて、40年かわらない味へのこだわりは大切に。

焼そばがもっともって食べたくなる、そして、もっともって好きになる。

そんな豊かで楽しいマルちゃん焼そばを、

これからもお客さまにお届けしてまいります。

※(株)インテージ SCI「生麺ゆで麺」2014年1月～12月期間計「ブランド別金額シェア」データより

マルちゃん焼そばの情報は

マルちゃん焼そば

検索

焼そばを、手軽な家庭料理に変えたロングセラー

当社は1960年代から業務用の焼そばソースを販売していましたが、1970年代前半に焼そばの人气が高まったことから、ご家庭でも手軽に焼そばを楽しんでいたことが、ソースと麺を組み合わせた市販商品「マルちゃん焼そば」を発売しました。その思いは叶い、現在にいたるまでマルちゃん焼そばは多くのご家庭で常備され、楽しい家族の食卓に欠かせない商品になっています。



1975年発売当時のパッケージ

マルちゃん 焼そば シリーズ



マルちゃん焼そば 3人前
ずっとかわらない、この味を。



マルちゃん焼そば 塩 3人前
瀬戸内産の藻塩でまろやかな塩味！
藻塩 30%使用 (粉末ソースの中の食塩に占める割合)



マルちゃん焼そば お好みソース 3人前
甘みとコクのある、果汁入り液体ソース！



マルちゃん焼そば たらこ 3人前
こんぶの旨みでまろやかな粉末たらこソース！



マルちゃん焼そば 中華オイスター醤油 3人前
オイスターソースに香りたつごま油！

2015年季節限定品



春 | マルちゃん焼そば
えび塩味 3人前



夏 | マルちゃん焼そば
カレー味 3人前



秋 | マルちゃん焼そば
醤油バター味 3人前



冬 | マルちゃん焼そば
海鮮風ちゃんぽん味 3人前



会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数(連結)

4,814人

事業所数

支店・営業所 28、

冷凍冷蔵庫 13、工場 8

関係会社

32社(海外10社含む)

役員

代表取締役会長	堤 殷
代表取締役社長	今村 将也
専務取締役	山本 和夫
常務取締役	三浪 博行
常務取締役	住本 憲隆
常務取締役	沖 齐
常務取締役	石黒 勝彦
取締役	豊田 勉
取締役	真喜屋 理恵子
取締役	高橋 清
取締役	角 忠
取締役	椿 博成
社外取締役	浜田 とも子
社外取締役	藤田 寿
社外取締役	小川 進
常勤監査役	山下 透
常勤監査役	及川 雅晴
社外監査役	森 勇
社外監査役	中村 義人

支店・営業所

- ◆北海道支店 (旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆甲信越支店 (新潟営業所、長野営業所、甲府営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (神奈川営業所、千葉営業所、埼玉営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (沖縄営業所)

冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社 ◆埼玉東洋株式会社
- ◆湘南東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆株式会社シマヤ

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC. ◆MARUCHAN TEXAS, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. DE C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. DE C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆東和エステート株式会社 ◆下田東水株式会社
- ◆株式会社いらご研究所 ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国)
- ◆青島味豊調味食品有限公司(中国) ◆仙波糖化工業株式会社*
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 ◆マルちゃん味の素インド社 *持分法適用関連会社

株式の状況

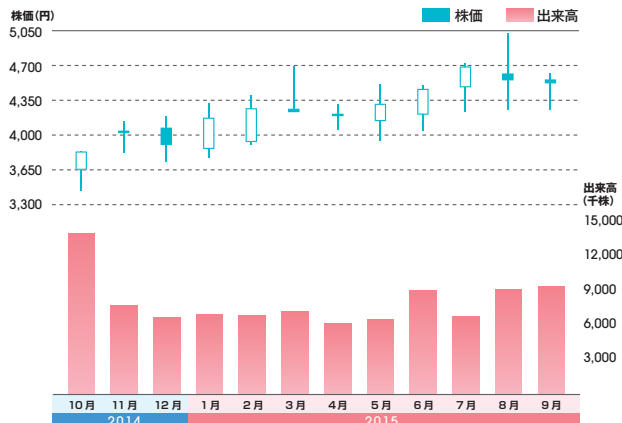
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
 発行済株式総数…………… 110,881,044 株
 株主数…………… 6,881 名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	5,611	5.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,620	3.54
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,291	3.22
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,261	3.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,236	3.16
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
一般財団法人東和食品研究振興会	2,768	2.70
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	2,656	2.59
マルちゃん持株会	1,850	1.81
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	1,721	1.68

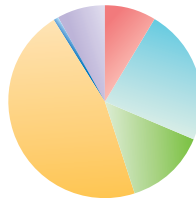
(注) 出資比率は自己株式(8,702,241株)を控除して計算しております。
 (注) 持株数、出資比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



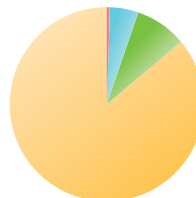
株式分布状況

所有者別



個人・その他 8.62% / 6,199名 / 9,562千株
 金融機関 22.94% / 60名 / 25,444千株
 その他国内法人 13.62% / 160名 / 15,110千株
 外国人 46.07% / 430名 / 51,090千株
 証券会社 0.87% / 31名 / 971千株
 自己名義株式 7.84% / 1名 / 8,702千株

所有株数別



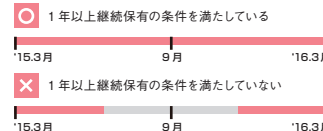
1単元未満 0.01% / 499名 / 12千株
 1単元以上 10単元未満 0.57% / 3,034名 / 634千株
 10単元以上 100単元未満 4.93% / 2,907名 / 5,477千株
 100単元以上 1,000単元未満 8.54% / 293名 / 9,473千株
 1,000単元以上 85.93% / 148名 / 95,283千株

株主優待制度

当社は日頃よりご支援いただいております株主の皆様への感謝の意を込め、毎年3月31日時点で当社株式100株以上を1年以上継続保有*された株主様に自社製品詰合せを贈呈、または社会貢献活動団体への寄付をお選びいただける株主制度を実施しております。寄付対象の団体は毎年選定させていただき、お知らせ致します。

※「1年以上継続保有」の条件は、年2回(9月、3月)確定する株主名簿に同じ株主番号で3回以上連続で記載されることとしております。

株式保有数(株)	優待内容
100～999	2,000円相当の自社製品、または寄付
1,000～2,999	3,500円相当の自社製品、または寄付
3,000～	5,000円相当の自社製品、または寄付



社会貢献活動団体への寄付のご報告 本年度は日本ユニセフ協会を寄付先として選定させていただき、141名の株主の皆様よりお預かり致しました総額481,500円を同協会に寄付させていただきました。ご賛同いただきました株主の皆様のお気持ちに、心より御礼申し上げます。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

地域貢献活動への取り組み

～関東工場～

当社では、企業スローガン「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」の実現に向け、各事業所で地域に根差した社会貢献活動に取り組んでいます。

関東工場では2011年より、館林市在住の親子を対象に「夏休み親子工場見学会」を開催しています。今年は、8月24日(月)・25日(火)に行い、合計35組111名の親子の皆様に参加していただきました。内容は「緑のためぎ天そば」の製造ラインの見学と、麺・具材・スープを自由に組み合わせで作る「オリジナルカップ麺作り」を取り入れた食育プログラムの二本立てです。ラインの見学では、機械で製品が次々と作られる様子を見た子どもたちから歓声があがり、食育プログラムでは、「普段とは違う地域のスープや具材を食べることができて、楽しかった。」などの感想をいただくことができました。今後も引き続き、地域社会への貢献に注力してまいります。



工場スタッフによる、
ラインの説明

「オリジナルカップ麺作り」
試食の様子